

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で17回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和6年10月23日(水)～11月1日(金)の間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

2

その他関連する訓練

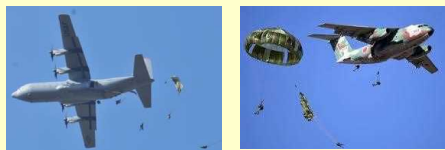
- 統合後方補給
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙状況監視に係る連携
- 統合電磁波作戦訓練



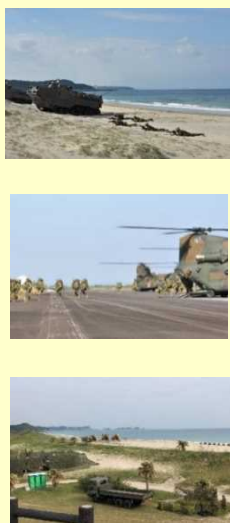
統合防空ミサイル防衛訓練



空挺作戦



水陸両用作戦



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)の 北海道における訓練について

同演習において実施する北海道内の訓練は、

- ① 陸上作戦(実弾射撃訓練)
矢臼別演習場、計根別着陸場
- ② 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練、高射部隊展開訓練)
千歳基地、奥尻分屯基地
- ③ 統合後方補給・衛生訓練(補給品輸送輸送)
陸自近文台分屯地、白老駐屯地、安平駐屯地
- ④ 統合電磁波作戦訓練
留萌駐屯地

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

北海道内で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦(実弾射撃訓練)

米軍輸送機が沖縄県から計根別着陸場に飛来し、米軍のHIMARS等を輸送するとともに、矢臼別演習場において陸上自衛隊と米軍による共同の射撃を実施します。

【期 間】令和6年10月23日(水)～11月1日(金) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：北部方面隊多連装ロケットシステム(MLRS)×3基

米 軍：米陸軍及び米海兵隊、HIMARS×4基、C-130J(輸送機)

訓練予定場所



訓練イメージ

米軍：HIMARS(実射)



陸自：MLRS(実射)



米軍C-130Jによる輸送

